夕刊 磐城新聞 四月二十八日發行
發行所 磐城新聞社
(日曜祭日翌日休刊)

時想

白木英尾

詩南社が解体されたのが昨年の三月、それから一年餘も經つて、その間出るか出るかと思はれた新らしい同人雜誌も立消えとなり、歌壇沈潜の感は一しほ深い。元氣一ぱいの小山田滋氏などは、十地の若い人達の意久地無さにあきれてゐるだらうと思ふ

歌壇人の消息など殆んどなく、只四邊寂寥を感ずるのみ、たまたま同好の知人と逢ふ毎に「なんとかならないか」と肩をはたきたくなる。だが「オイ」と聲をかけても返事がない峠の茶屋へ辿りついたやうで、自分から立上つて仕事をするといふ人がなかつたのは何となく力なく感ずる。

若い人達が一つのグループを持つことは非常に樂しいことだ。雜誌を出さなくとも、歌、話を漫然と語り合ふ集りがあつてもよいではなからうか。何か仕事をするしないは、それから後のことだ。そうして始終歌の氣分に浸つてゐるやうにすることは、歌を作る人達にとつて一番大切なことだと思ふ。二十九日の短歌會には、こんなことも集つた人達と語つてみたいと思ふ。どうも田舍臭いことを書いてしまつて申譯ないが、今度の短歌會を轉機として是非共渾然一致の形でなんとかなつて欲しいと思ふ。これは恐らく私ばかりでなく大多數の聲に違ひないのだ

いつごろからか知らないが、私達は春秋二季の短歌會だけはどうやら續いてきたやうに覺えてゐる。ある時は詩南社主催で、ある時は磐城新聞社主催で、そして一歩々々歌壇の向上に大きな足跡となつてゐるが、只今のやうな不振沈潜の時に當つて、この集りが催されるのは私達にとつて今更らしく非常に力強い感をあたへる。小山田氏や新妻久彌夫氏などは夙くより詠題まで考へてゐたさうで、郷土人の關心がまだ〳〵歌を離れてゐないと信じてゐる。私達はこの短歌會を有意義な會合であらしめたいと念願してやまない

私自身は既に歌に落伍して、歌を語る何物もなくなつてしまつたのは甚だお恥しい次第であるが、これを好機として乾坤一擲するあらば幸甚と思ふ。短歌會開催に就いて喜びのあまり駄筆を用ひて如件

磐新歌壇

短歌　磯上六花

○公園の松葉拾ひし子等はみなさゞめき合ひてかへりけるかな
○くもり空小雨となりて軒先の南天の葉につゆしたゝりぬ
○去り行き憎き人なるに憎み得ぬ弱き心のいとほしきかな
○世の中のすべてのものをうちすてゝわれをなぐさむ少女ありせばや

潮聲

第六十六集　紙上互選　『春潮』

5 月の下春の潮のたゝみ來る　武門
宮の碑の後にさわぐ春の潮(熱海)
ひた〳〵と船べり打つや春の潮　鶴歩
春の潮鷗のどかにゆられをし
5 晴れて行く春の潮の面かな　眞砂常
春潮や大島小島霞立つ
磯蔭に蠏這ふ春の干潮かな　文狂
春の潮渚に泡のひかりけり　欽一
おもむろにふくれてよりぬ春の潮　曉霞

春のお寫眞

島田忠夫

チラチラ、木の芽がうごきます
けものの鳴きごゑ鳥のこゑ
はい、お寫眞をうつします
まぶしがらずにこちら向き
アウオと虎がほえました
檻の中ですご安心
ほら、お寫眞が撮れました
ペリカン鳥もご一緒に

社會の今日

4月29日　△今上陛下御降誕(明治三四)△足利尊氏卒す(延元三)△紙幣と金貨の價値を同一ならしむ(明治二)△社民黨支持の農民組合再建さる名稱は「日本農民組合總同盟」△呉港外で汽船衝突五十餘名死傷す△日活と日興關東組に反トーキ爭議おこる△東日主催西國三十三所モダン巡禮競爭選手出發△上海新公園における天長節祝賀式場にて爆彈事件あり白川軍司令官、重光公使等負傷(昭和七)△宮中におかせられては天長節祭を執り行はせられ、代々木練兵場では行幸を仰ぎ觀兵式を擧行、また豐明殿で御祝宴を催させ給ひ優渥なる勅語を賜ふ△春陽會受賞者發表△世界經濟會議組織委員會はイギリス外務省で開會(同八)

4月30日　△法隆寺燒く(天智帝一〇)△衣川合戰義經主從死す(文治五)△不動産金化問題預金部から二億圓融通に大藏省議きまる△日支停戰交渉に關する聯盟特別總會開會、全會一致の形式で決議案を可決す、我が代表は棄權△聯盟支那調査委員の中間報告聯盟に打電(昭和七)△ペルー大統領セロ大佐暗殺さる(同八)

○
縁のうへに足をなでつつ晝ひさし、庭のつつじに蜂三たび來る　山田邦子

花
行春や靈場さびれ殘る　小牛

講談 浪人長屋 (73)

日岐武志作　月草蘆子畫

驅け落ち

「今日もお祖母さまが、この相模屋のために是非とも太田屋へ行つてくれと孫娘に手をつくばかりにしておつしやるのです。もつたいない氣がします」お父さまもお母さまもないあたしが、かうして一人前になれたのも、お祖父さまや祖母さまのお陰、そのご恩のありがたさを思へば、自分勝手な我まゝは言はれませぬ。どんな辛い事があつたとてよろこんで嫁し付かねばならぬ身體です、けれど……」

お園は、急に、聲を濕らした

「けれどすいたお前を振すてて三百兩の身代りになるなんて思つただけでいやなこと、その位ならいつそひと思ひに死んだ方が」

「ね、吉三、どうしたらよいかお前の思案を、いうておくれ」

吉三は、先刻から、腕を組んだまゝ、うなだれた

「もつたいないうございます」

と、吐息のやうに、聲がさみしくひゞいた。吉三とて、お園と別れるのは切ないことだつた、さりとて、大事な主家の孫娘の部屋へかうしてしのんで來てゐるだけでも、恐ろしい罪を犯してゐることを思へばとやかくと、思案を語るは、氣を引けるのだ

「もつたいないなどと、水臭いぢやないか、お前と妾の仲だものね吉三しつかりしておくれ」

「お園さまが、お祖父お祖母さまにご恩をうけてゐなさるやうにわしとてもご主人さまには今まで厚いお世話になつてゐます。その旦那さまの孫娘をそゝのかしたなどと、いはれたらこの吉三めの顔が立ちませぬ。」

「お園さま、わしはきつぱりあきらめました。今までのことはさつぱりと忘れませうぞ。わしさへ身を引けばお園さまは立派に太田屋へ嫁し付かれますし、この相模家の庫も立ちます。吉三は、主家に後足で砂をけるやうなことはできませぬ」

「嫌です嫌です、お前はそれを本心で言つてゐるのか、あたしのこの身も心もすつかりお前のものになつてゐるのにそんな情ないことをいふのはあんまりぢや。今までの事は嘘だつたのかえ、妾をだましてたのかね」

お園は男の胸にとりすがつてはげしく身をもだゐるのだつた

「お園さま」

と、吉三は、お園の躰を急に抱きしめた

「吉三は、吉三は、鬼になります。お園さま二人で逃げませう」

お園は男の腕の中で

「あゝッ吉三」

と、うれしく聲をつまらせ

「その言葉を待つてゐました」

「逃げませう、どこまでも添ひとげませう」

「よう、いうておくれた。うれしい……」

「明日といはず、今宵これからすぐ……」

「すぐ逃げませう」

吉三は、きつぱりと言つた

「そして行先は、お前に目あてはありますか」

「あります。本所で船頭をしてゐる勘兵衛といふ爺さんで。わしの遠縁に當るもの一先づそこへ落着いた上でなんとかくらし向きを考へませう」

「あゝそうしておくれ、當座の金は、あたしが持つて行きます」

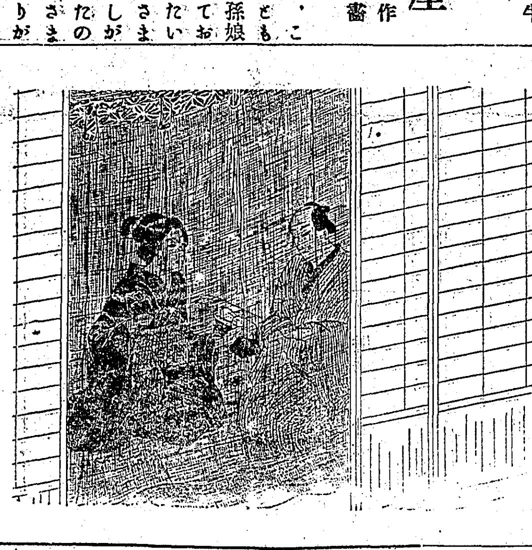
お園はもう甚兵衛夫婦が後でどんなに嘆くだらうことも考へたくなかつた

「では一刻もはやく支度をして」

「あい」

「勘兵衛さんが、きつとおどろくでせう……」

勘兵衛といふのはお園の父の甚吉を隅田川から救ひあげた老船頭かのお鈴の父親なのだ



嚴愛の子女教育

古河炭鑛勞働係主任　前松佐嘉

(17)

驚いた私は「キット行きます許して下さい、お母さんが惡いのではありません、私が惡いのですから」と父に抱きついて詫を申しました

漸く父に許された私は一人で暗の中を手探りに出掛けて行きました、そらして漸く用事をすませて歸つたのは翌日の夜明がたでありました。父は、まだ寢てゐるかと思ふと、もう起きて居て私の歸るのを喜んで迎へて呉れました、併し後から聞きますと父は私に姿を見せないでズット後をつけてゐて呉れたのださうであります

この父とこの母とを有て居たことを私は今なほ幸福に思ひます、十歳前後までの硬教育が全く私をして今日あらしめたのであります、涙にもろかつた反面に嚴であつた母に對しては一層感謝の念が強いのであります

言つて居られますが誰しも嚴重にせられ時は多少の反抗心を起したり、又冷酷に感じたりする事があります。併しそれは後年になつて回顧して見ると非常に有難く思はれるのであります

夫れから今一つ之と同じやうな話で下田博士の著「母と子」の中にある所の或る女學生の日記があります、内容はわが母の眞の愛を喜んだ日記で實に涙ぐましい所があります

私が小學校の一年のとき田舍の山中のことで冬の風寒く晝頃より雪をもたらして終業の頃には非常な吹雪でした、友の父母は皆子を背負ふ紐を持つて迎ひに來まして、宅には下女も下男も居るのに誰も來て居りません。仕方なく下駄を腰に附け足袋はだしとなつて非常に困つて歸る途中遠くに母の姿を見ました。母は知らぬ顔をして姿を隠しました。私は手足も覺らない樣に宅に歸りますと母は愛ある眼で迎へて呉れました、母のさぞ寒かつたらうといはるゝ言葉に迎ひに來られなかつた厭さが全く忘れました

二十九日
日出 四、五三　月出後 六、二二
日沒 六、二五　月沒前 四、〇七
滿潮 前四、三五 後六、〇〇　干潮 前一一、一五 後一一、三五

三十日
日出 四、五一　月出後 七、三二
日沒 六、二六　月沒前 四、四三
滿潮 前四、五五 後六、四〇　干潮 前一一、四五 後一一、五五

舊三月十六日 日曜 庚午 赤口 滿 星宿 新四月二十九日

諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神鑑

▲一白の人 苦勞の經驗は處世の藥と力落さず勵むべし▲二黑の人 兵らう盡きては職は負他より資力を仰ぐが吉▲三碧の人 引立も同情も深し屆せず努むれば發展挽回▲四綠の人 體力を練り英氣を養ひ勞苦に堪ゆれば安全▲五黃の人 勞苦は附纏へど辛棒は能く之を打拂ふべし▲六白の人 幸運とて安心するな悲運は後ろに虚を覘ふ▲七赤の人 沈滯すれば水も腐る淀まず流れに押し進め▲八白の人 無理を通さんとすれば力盡きて破れ大なり▲九紫の人 大望を起すは夢にて玉こうとなりだろが如し

舊三月十七日 月曜 辛未 先勝 平 張宿 新四月三十日

▲一白の人 雨に褪ろゝ花の如く色あせて見る影もなし▲二黑の人 萬事縮少するに安全なり普請轉宅開店等きよう▲三碧の人 我慾のみを逞ふすれば大失敗を蒙る事あり▲四綠の人 獨立にて事を企つる時は仕損じ多かるべし▲五黃の人 途中にて氣迷ひを生じ敗れを招くことあり▲六白の人 證書の捺印に警戒せざれば後日に迷惑あり▲七赤の人 萬事順調に進展する日起業開店旅行轉宅吉▲八白の人 安心に過ぐるは不ぐうの種な詐ぐが如し注意▲九紫の人 大幸運の日起業開店普請等將來の基礎固る

常磐銀行、茨城無煙、大日本炭坑
星製薬、其他、雜株端株高價買入
株式公債現物賣買
合資會社 三共商事
平町大町一元公會堂池埋立地前 電話三六〇番

內外建築材 建具材
入 阿部材木店
磐城國平町(公園下)
阿部好利 改メ
電話四九四番

營業所移轉廣告
從前タクシー及トラツク營業格別御引立に預り難有御禮申上候、今度營業所を左記へ新築移轉なし營業の合理化策としてトラツク營業單一擴張なし一意專心努力なす可候間何卒舊に倍し御愛顧の程願上候
隨つてタクシー營業は當分の間休業仕候
四月十八日
白銀町十番地
松崎自動車商會
電話三九二番

貸切り
專門優良車
乘心地の超特快適な三四年型フォード着
何卒御用命願ひます
平町四丁目
鈴木自動車部
電話二一七番

開店披露賣出しの感謝と御禮に
「お子様サービス」
坊チヤマ孃チヤマにほんとうにおいしい！東京堂のパンを召上つて頂く爲に日曜日サービスを致します。
日曜日の御買上にはオモチヤを差上ます。
「御家庭サービス」
御家庭にサンデーサービスを致します。
毎日曜日の御買求めには三十錢以上に新製品か又は何かおいしいお菓子を差上ます。
△多少に拘らず御用命の程を……！
東京の味を其まゝの
銀座好みを其まゝの
パン屋
ベーカリー 東京堂
平町才槌小路 電話(呼)二三七番

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井阪醫院
平町田町(元合津醫院跡) 電話五五九番

店員募集
小店員 本年尋卒 仕着 月手當 三圓
同高小卒 仕着 月手當 五圓
外交員 二十才ヨリ三十才迄 五名
右至急募集ス 優遇 委細面談

各國產漆器 專門卸
(共) 共榮漆器店
平町三丁目三六

磐城鐵工機械同業組合

吸入用酸素 純度99%
モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
關內藥局
電話四〇番

職工徒弟募集廣告
◇大工職 五名
◇女工 五名
◇徒弟 八名
◎挽物及木工玩具製作トシテ合理的製作方ヲ望ム人
◎資格(年齡―拾三四歳ヨリ拾六歳位迄、學歷―尋常科卒業又ハ以上の事)
◎御希望者ハ至急御面談又ハ御問合セ乞フ
各種挽物 木製教育玩具木馬 專門製作
佐藤木工製作所
平町十五丁目(共濟病院向)
電話三八一番(呼)
振替口座東京五一三七番

煙草好きな平と小名濱
老幼悉く算へた一人當りが
年額何れも五圓廿錢台突破

水戸地方專賣局平出張所管内六町二十七ヶ村に於ける昨年度中の賣上高は總額五十九萬九千九百四十七圓十八錢で内譯左の如く平町の十四萬五千三百五十六圓九十錢を筆頭に内郷、湯本、好間の各炭鑛所在地、及四倉、小名濱、豊間の各海岸線が依然好成績を續けて居るが消費高一人當りに就て見ると平町の五圓二十七錢四厘を最高に小名濱町の五圓二十五錢九厘がこれに次いで居り最低は渡邊村の一圓二十三錢一厘である、尚同所成績は管内第二位の好成績である

	賣上金額(圓)	一人當(錢)
泉	九、四五四	二、三三
渡邊	二、八五四	一、三三
上遠野	一〇、〇五三	二、一八
入遠野	六、〇三三	一、五一
石住	一、六四三	四、四〇
平	一四五、三五七	五、二七
飯野	四、三一〇	一、三八
夏井	五、二三三	一、九六
高久	四、〇三四	一、六〇
豊間	三、一三五	三、一八
江名	二六、六八五	四、九九
鹿島	二、五二一	一、四三
小名濱	五六、四六〇	五、二六
玉川	四、一九九	一、七六
磐崎	三、七六六	二、二五
湯本	五五、三五六	三、四六
内郷	八三、七六一	三、〇四
好間	四一、二七三	三、五一
下小川	三、七二二	一、八五
上小川	五、三七七	二、六六
平窪	五、一三〇	一、六三
大野	六、二五四	一、六五
四倉	三一、三三八	四、三三
大浦	六、一四八	一、五七
草野	七、八二八	一、七三
神谷	六、三五七	一、八三
澤渡	三、三九二	二、一六
箕輪	三、〇三五	二、三三
永戸	三、九六八	一、五八
赤井	一八、四三三	二、四三
久ノ濱	三三、一四七	三、〇一
大久	一、八六四	八二

黄小賣人組合總會

平地方煙草小賣人組合春季總會は昨廿七日午前十一時より世界館に開き八年度組合決算、歳入千八十九圓四十三錢、歳出千五十七圓九十五錢（殘三十一圓四十八錢、九年度繰越）及九年度豫算千四百八十六圓四十八錢を可決、後既報優良組合員八名の表彰式を擧行終つて左の如く役員改選を行ひ午後から慰安映畫會を開催した

會長平澤勝次郎(平)副會長面川亀之助(四倉)會計佐藤榮一(平)理事植頭鶴松(同)外八名

東久邇師團長宮御車上

東久邇第二師團長宮殿下には今廿八日平驛發午前二時二十二分で御通過車上あらせられた

。。。。。平署遙拜式。 平署では明二十九日の天長節に午前十時から遙拜式を擧行する

。。。。。平商奉安庫美化。 平商校友會では同校奉安庫が過般竣功したので此程生垣を廻らし庭園化に努めてゐる

總裁宮奉戴式に參列
郡下から光榮の四組頭

來月三日東京日比谷公園に於て擧行される大日本消防協會 總裁梨本宮殿下奉戴式參列の光榮に浴する本縣代表組頭中郡内關係者は左記四名と決定した

遠藤惣三郎(豊間)金成岩吉(四倉)坂本龜太郎(植田)井坂千代松(湯本)

磐中運動會
前人氣沸騰す

磐中校の春季運動會は例年通り同校創立記念日の來月五日をトし開催されるが當日の呼び物たる郡下小學兒童八百米繼走優勝旗爭奪戰には平第三がトップを切つて現在數校の申込みありその他觀衆を牽きつける種々の飛出し物を準備中との事で中に目下作製中の假裝戰車を中心とする『?』は各部合同出場の科學模擬戰で步兵銃器機關銃は勿論、假定の飛行機、煙幕、毒ガス等から爆彈三勇士迄參加すると

海の勇士十五名
郡下合格者三十七名中
志願兵採用決定

既報の如く郡下海軍志願兵試験は三十七名の合格者を發表したが二十六日、その中より左記十五名を採用することに決定された

八代吟雄(植田)赤津登(同)小宅進(錦)星彥衞(同)青天目一芳(勿來)

小林淸(平)渡邊文男(夏井)鈴木進(鹿島)神田秀四郎(内郷)菊地直義(同)船生勉(大野)以上水兵 安部正安(泉)古畑三男(平)佐藤正己(草野)以上機關兵 佐藤實(勿來)主計兵

いふ毛色の變つた趣向であるといふ昨今は各學年を通じてその準備に大童である

小學校長會
來月三日第一校で

郡下小學校長協議會は來月三日平第一校講堂で開催されるが郡下五十五校長出席左を協議する

御親閲記念事業、本郡教育是制定、本年度教育行事打合、教育部會總集會夏季講習會各開催、國際協會加入その他

縣大會の瀨踏みに
磐中平商の接戰
明佳節の對抗競技

磐中、平商の對抗競技は明二十九日天長節式後磐中グラウンドで行はれるが種目は百米、二百米、四百米、八百米、千五百米、四百米繼走、八百米繼走、走巾跳、三段跳で來る七月の縣下中等校体育聯盟体育大會の足ごしらへと場慣れの爲め大いに奮ふと

法曹野球延期

相馬對平の法曹團野球試合は昨二十七日の豫定だつたが此度は相馬チーム側に支障あり躑躅の候に延期となつた

。。。。。平土木監督所捷つ。 對夏井川改修事務所の野球試合は昨廿七日行ひ十二對四

。。。。。平税卓球軍遠征。 平税務署卓球軍十三名は明廿九日相馬同署に遠征する

明夜限り
櫻花燈撤去
愈々今花の終曲

例年の如く花の松ヶ岡に點彩を加へた田町美妓連の手踊りは昨日を以て千秋樂雪洞は今廿八日限りの處特に明廿九日を最後に撤去されるが全園歡樂の坩堝と化した平の春も日曜天長節の明二十九日繽紛たる花吹雪を以て終曲を告ぐる事であらう

平商校諸行事

平商校では來月十日が開校二十一週年に當るので當日校長の講話の後神谷村方面に一萬米のマラソンを行ふが尚は來月四日には川前方面に臨時列車仕立で全校生の遠足運動會を催すと

縣自動車協會總會
平方部出席者決定

自動車協會平支部幹事會は昨廿七日午後一時から平署會議室で開き來月一日の道路愛護デーに際する宣傳方法を協議、尚來月十三日須賀川で開かれる縣自動車協會總會への平方部出席者は野崎滿藏、芹澤正忠、松崎安、吉田直之助、神谷富五郎の五氏に決定、湯本、小名濱、江名各方部の委員と共に當日早朝出發する事になつた

露油第一回購入
同志八名が結束

七社協定に反對數次の總會に於て義務的に露油購入を決議した自動車協會石城支部では愈々近く第一回購入をする事になつたが目下の申込者は左記八名で保證金は八噸積一車につき百圓を要すると

木村德三郎、長岡義守、鈴木房次郎、小濱長太郎、草野長吉、矢吹莊司、薄葉安久、野崎滿藏

。。。。。第三溫室設置。 平第三校では近く中庭に約二坪の植物用溫室を設置する事になつた

明後日總集會
郡青年團雄辯大會

郡聯合青年團總集會は明後三十日午前十時から磐中講堂に開き豫、決算を附議後第三回雄辯大會を催すと

十一萬圓の豫算で
江名上水道計劃
縣當局に認可申請

江名町は縣下の代表的漁港であり乍ら飲用水の惡いのと用水の不足で有名であつたが先に數萬を投じた掘抜井等に失敗した經驗等もあり愈々水道設備に俟つの他なく過般來水源地探究中であつたが永崎地内井龜は水量質共に有望であると技術者の折紙を得過般町會にて十一萬餘圓の設備豫算を議決目下縣當局に認可申請中であるが町民は從來の水飢饉より救はるゝの日近きにありと大いに期待して居る

。。。。。縣聯合女青大會。 第八回縣下聯合女子青年團大會は來月十八日福島市教育會館で開催されるが本郡よりは聯合會長津田第二校長及び各分團より二名宛出席する

豊間村愛婦有功章會員

豊間村愛國婦人會では過般來有功章會員募集中であつたが村長夫人鈴木みな子、馬目くま、鈴木すゑ、金親登美、阿部みち各氏五十圓外に特別會員四十二氏の應募あり好成績であつた、因に右寄附者は來六月福島市に開催の支部總會に於て總裁宮殿下より有功章を御親授せられると

小名濱町會

小名濱町では昨廿七日午前九時より町會を開き九年度追加更正豫算を四萬五千八百圓追加の貳拾八萬貳千九百六拾圓及火葬場敷地として字渚一番の五百七十三坪を可決了つて午後三時より富ヶ浦公園で町議、役場吏員合同の觀櫻會を催した

磐女生歸校
今夜修學旅行から

磐女校の修學旅行團は今二十八日平驛着午後七時四十六分で歸平する

八年の教壇を去り
鈴木(磐中教諭)東北帝大へ
理學部で研鑽を續く

磐中教諭鈴木寅之丞氏は此程東北帝大理學部に入學、明後三十日平發午後一時五十八分下りで仙台に出向する氏は仙台高工卒業大正十五年三月磐中教諭に就任數學と柔道を擔任今日に至り學生らしいタイプから生徒に非常な親みを持たれ傍ら水泳部を主任して同部の發展に努めた、氏は語る

僕は生徒に好く思はれたそのお蔭で八年も居る事が出來たがいざ行くとなると何となく變な氣持ちになる、之からは老書生だ、山口君は妻のある大學生だつたが僕は子供さへある、水泳部は谷澤君が居るから心配はない、卒業生諸君によろしく

魚粉末製造
水工の劃期的飛躍

小名濱町水產工業株式會社では大阪合同水產工業會社と協同總工費六萬圓(中農林省補助一萬六千餘圓)を投じ同社內に漁粕工場を三月一杯に竣功したが愈々農林省雨木、岩澤兩技師により檢分の上認可指令あり次第フイッシミール(魚粉末)製造を開始するが現在同種工場が日本には九つしかないためフイッシュミールは年々フランス、ドイツ等からの需要多く供給不足になつて居たものであり同工場認可の曉は製產品をドシドシ海外に輸出するものである、因みに同工場の右製產能力は一日生鰯三十五噸、仕上り七噸

邪道を辿つて！
學校荒し遂に自首
宮刑所出の三犯男

最近平商校昇降口から革靴一足、同第三校から同校訓導三本杉國雄氏所有の自轉車一臺を竊取した犯人を平署で嚴探中昨廿七日午後九時自首して出た、此奴は宮城縣名取郡玉浦村寺島濱入り竊盜前科三犯武田淸太郎(四)で去る十八日宮城刑務所を出所後郡內に流れ込んで居たものであり餘罪ある見込みで嚴重取調べ中である

コソ泥捕る
昨夜長橋木賃宿で

埼玉縣北足立郡大宮市大門町竊盜前科一犯小堤淸太郎(三一)は去る十日宮城刑務所を出所一昨廿六日迄宮城縣亘理町氏名不詳の仕立屋よりズボン一着、四倉町某店より白米を竊取せんとして家人に發見昨廿七日平町長橋町木賃宿小島屋に潛伏中を平署員に檢擧され餘罪ある見込みで取調べ中

小爲替改竄
犯人捕はる

最近郡內各所に小爲替改竄犯人が出沒するので平署では躍起捜査中今廿八日午前十一時頃綴局より小爲替十錢二枚を取組んで居る擧動不審の男あるを同村駐在林巡査が引致取調べた結果原籍相馬郡石神村生れ當時住所不定無職馬場衆太郎(三三)で計らずも同犯人である事が判明した去る二十四日夜平町五丁目片寄古書店から十錢を改竄した小爲替で古本一圓三十五錢を買ひ殘金八圓六十五錢を詐取した外原町には被害二件目下餘罪取調べ中である

平に傳染病
けふ二名隔離

平町禰宜町九大和田タマ子(九)は猩紅熱、同町五丁目三三猪狩ヨシノ(三五)は膓チブスと決定何れも今廿八日隔離されたがそろ〳〵傳染病流行季に入つたからお互注意されたいと

。。。。。一丁目分團總會。 平町一丁目青年分團總會は今廿八日午後六時から谷口樓で開き豫、決算報告、役員改選を行ふ

。。。。。平窪兒童奉仕。 平窪小學校では昨廿七日の靖國神社臨時大祭に際し全校生徒が出動村內各神社の淸掃をなした

安銀員一行遊覽

福島市安田銀行員十五名の一行は今廿八日午後六時十三分着で來平、住吉屋本店に一泊、廿九日は自動車に分乘、沼の內、豊間、江名、小名濱、勿來及磐炭、入山兩坑を見學する

飾窓並店頭
裝飾競技
けふ審査決定

平町長橋町いはき新報社主催第四回店頭並にウヰンドウ裝飾競技大會は去る十六日より二十七日まで審査終了、今夕午後七時より常磐銀行平支店樓上に於て左記委員により審査會を開くと

△委員—諸橋久太郎、鈴木邦三郎、加藤丈夫、近藤廣記、酒井英吉、佐々木龍若、長島菊苗、千葉彥治、藤田榮助、加藤正保、淸野キヨハ、鯨岡久一郎、各新聞平支局長

△ウヰンド賞品—(特選)平町長賞裝飾用金裝冑形置時計(一等)美術置時計(二等)平町長大木盃(中純金色)(佳作)平町長木盃三名、賞狀五名

△店頭賞品—(特選)平町長大カップ(一等)置時計(二等)平町長大木盃(中純金色)(佳作)平町長木盃三名、以下賞狀五名

(以上何れも賞狀添付)

本社主催
春季短歌會
四月二十九日午前十時よりマルトモホールにて
兼題『雲』『散』各一首

。。。。。平局員任命。 此度平局では判任官三名增員決定內二名は左の通り此程着任した 山形局より切田寅藏、齊森局より本間幸之進

。。。。。鹽商役員總會。 平地方鹽小賣人の役員總會は去二十七日午前十時よりマルトモホールにて開催した

。。。。。第二職員退職。 平第二校加治コト、同休職星德兩氏は昨廿八日付依願退職となつた

。。。。。平町小船數。 平町役場調査の去月末現在小船數は五

。。。。。斷水。 平町才槌小路地內消火栓取付の爲左記個所は今廿八日午後九時から明廿九日午前一時迄斷水する 才槌小路、田町、紺屋町各一部

。。。。。縊首。 赤井村大字赤井字田町五一農金山フジ(五四)は今二十八日午前四時頃自宅三疊間に於て縊死を遂げた昨年中來の婦人病を苦にして

晩春旅日記
（磐女見學隊）

若葉の銀杏樹下に
公卿の往時を偲ぶ

（第一信）—二十四日早朝旅行隊一行百六十一名多數諸先生始め父兄等の見送を受けて元氣に平驛を出發。車中恙無車窓に映る若葉をなつかしみつゝ一路鎌倉に安着、時に午前十一時二十五分、先づ鶴ヶ岡八幡宮に詣でゝ往時の銀杏樹を偲び鎌倉宮に詣でては感慨轉た切に悲憤の涙禁ずる能はず。長谷寺、露座の大佛、稻村ヶ崎、七里ヶ濱等何れも一行をして往昔の歷史の跡を偲ばしむること切なり

春雨烟る江の島へ
淸空に靈峰を仰ぐ

この頃より朝來の春雨いよ〳〵烟りて雨中の江の島を見學して午後五時藤澤驛から車中の人となるや夕空淸く晴れて靈峰富士を仰ぎ一同雀躍す、長途の汽車の旅些の疲勞もなく古の平安の都、京都に安着、時に廿五日午前五時二十八分

東山三十六峰眠る
古典的な舊都見學

（第二信）—桓武天皇の都し給ひてよりこゝに一千有百年、平安文化の中心地たる京都の山紫水明と風俗の優雅を滿喫せん爲に朝八時宿を出で智恩院、東本願寺、京都御所等を見學す、春空長閑に霞みて東山三十六峰眠るが如く模糊として靜かに往昔の歷史の跡を秘めて横たはる、實に平安の都は歷史の地詩の境として一同をあざむかず一日の行程を見學して得るところ甚大に誠に克くぞ、我等は來れるもの遙に故里の父兄に感謝しつゝ夕刻疲れたる足を宿に運びて風呂に浴し各々鄕里に音信を認め終り第三信の行程を樂しみつゝ就床（二十五日京都にて）

祝御入學
柔道着
劍道具
四月一日ヨリ三十日マデ
新學期特賣
磐中、平商御兩校へ御目出度く御入學の諸兄ご御兩親へ御喜びの御言葉を申上ます
付きましては必需品の柔道着、劍道具は斯界定評ある最優品を御推め申上ます親切なる製造に依る岩崎製柔道衣を丈夫な品質と廉價とを御批判下さい
電熱ほうじ茶本舖 平三 大勝園茶舖 柔劍道具部 電三九六番

生徒募集
◎ミシン裁縫、裁斷、教授
女性の一生を保護する趣味的職業として洋裁を知らねば恥の時代となりました
磐城洋裁專門學校 女子
※本校獨特の實際に役立つ斬新裁斷法
※實力主義で氣安く習へる個人的教授
※ミシン使用無料。材料貸與
平町白銀町廿五番地
（詳細學則郵券二錢）

内科 臓外科 一般
外科 花柳病科 （入院隨意）
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九